

◆重点普及課題

沖縄県海ぶどう生産者協議会の再構築支援

水産海洋技術センター本部駐在 仲盛 淳
水産海洋技術センター普及班 久保弘文・紫波俊介
宮古農林水産振興センター 吉田 聡
八重山農林水産振興センター 赤嶺貴史・山田真之
農林水産部水産課 平安名盛正・上田美加代・須藤祐介

1. 目的と経緯

平成22年に結成された沖縄県海ぶどう生産者協議会(以下、協議会)は平成25年7月末以降、海ぶどう用購飼料の購買事業を除いた活動休止状況にあったが、平成27年度の普及事業活動によって、協議会役員による現状把握と今後の体制や方針についての意見交換を経て、覚書に署名する事で同じ目標を持つ生産者による協議会の再構築を図ることとなった。今年度は協議会の体制、再構築を図る際の収参集範囲などについて関係機関と連携を図りながら、活動再開を支援したのでその概要を報告する。

2. 取り組み内容

(1) 平成28年4月21日

恩納村漁協の加工センターにおいて当真会長と県関係者が参加し、協議会再開に向けた作業内容の打合せを行った。平成23年度の会費納入リストを元に、現在の生産者リスト(住所・連絡先など)とのすり合わせ作業を行うこと、覚え書き案を作成し各役員からの意見を募ることとした。

(2) 平成28年5月17日

沖縄県庁委員会室において当真会長、安里副会長と県関係者にて調整会議を開催した。協議会事務局を暫定的に久米島深層水開発(株)糸満営業所内に設置し、7月11日の週には総会開催することを決定した。これに合わせて事業報告書および事業計画や規約改正案、執行体制や役員改

正の是非など今後検討して行くことで今後作業を進めて行くことになった。

(3) 平成28年5月20日

6月9日、13日、20日、21日

総会は7月19日火曜日に恩納村コミュニティーセンターで開催することで決定し、1号議案を平成26・27年度事業報告および決算報告、2号議案を平成28年度事業計画と予算計画、3号議案に事務局設置場所の変更に伴う規約改正、4号議案に役員選任を行うこととした。また、総会開催に合わせて会員情報交換会を開催することとした。これに合わせ、総会案内および会員数確定に向けた生産者リストや協議会休止期間の事業報告および事業計画について作成期限や進捗管理等を県関係者と連携を取りながら支援を行った。

(4) 平成28年7月5日

協議会からの飼育技術および衛生管理に関する情報提供の意向をうけ、総会会員情報交換会において水産海洋技術センター研究班 井上 顕主任研究員および保健医療部衛生環境研究所 衛生生物班 久高 潤班長に情報提供依頼を行うことになり、依頼文書の提出先や発表内容、時間や場所についての確認と調整を行った。

(5) 平成28年7月8日

総会前事前調整を、当真会長と恩納村漁協加工センターにて、暫定事務局天久氏と久米島深層水開発(株)糸満営業所にて行った。会場予約や

当日の式次第、議案内容、総会案内文の発送状況等の最終確認を行った。また、総会当日、事前役員会を開催すること役員への旅費支給を行うこと等を確認。

(6) 平成28年7月17日

第5回沖縄県海ぶどう生産者協議会役員会および通常総会の開催。平成26・27年度事業報告および決算報告、平成28年度事業計画と予算計画、事務局を正式に久米島深層水開発(株)糸満営業所内とし、新会長を安里氏、副会長を眞眞氏として協議会活動が正式に再開することとなった。また、今期事業計画として沖縄県水産課による「持続的な漁業生産額拡大のためのマーケティング支援事業」の一環として、「海ブドウ」の品評会を開催することとした。品評会開催にあたり協議会事務局と協力し開催説明および協議加入促進のための巡回を実施すると共に、関係機関と連携を取りながら開催に向けた調整を実施することとした。

(7) 平成29年2月21日

平成28年度沖縄産「海ブドウ」品評会を那覇市ぶんかテンプス館にて開催。協議会員から16点の出品があり、恩納村漁協恩納支部 銘苅宗和氏が最優秀賞を受賞。品評会に合わせて、てんぶす那覇広場にて一般消費者を対象とした試食会も開催し、県内消費者に加え県外・海外からの観光客に対しての県産海ぶどうの品質や安心・安全への取り組みをPRした。

3. 今後の課題

今回、協議会活動の再開がなされたことに一定の前進は見られるものの、再構築という意味では、未だ会員や役員によって協議会運営に対する温度差があるように感じられる。これまでの普及班で実施してきた協議会運営支援のなかでも事務局や県関係機関や会員との連携や連絡不足、会員の当事者意識が低いこと等から協議会活動の方向性が明確でなく県としての支援策

の方向性が見いだせずだった。今回、協議会活動として、初の品評会を開催することとなり、参加者からは評価を受けることで生産へのやり甲斐に繋がると実感できたと声も頂き協議会としての目標を再確認できる良い機会となった。協議会の自発的な活動の足掛かりとして品評会を中心に支援を行うことで、協議会の自発的運営における課題や問題など会員自らが気づき、活動に繋がるよう期待したい。



総会開催に向けた調整



品評会開催に向けた説明会



総会前の役員会



品評会における規格検査



通常総会



他の出品者の海ブドウを真剣な目で観察する生産者